<table>
<thead>
<tr>
<th>Title</th>
<th>日本中世史の研究(原勝郎著, 同文館発行)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>Sub Title</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>Author</td>
<td>今宮, 新(Imamiya, Shin)</td>
</tr>
<tr>
<td>Publisher</td>
<td>三田史学会</td>
</tr>
<tr>
<td>Publication year</td>
<td>1930</td>
</tr>
<tr>
<td>Jtitle</td>
<td>史学 Vol.9, No.1 (1930. 3),p.155- 156</td>
</tr>
<tr>
<td>Abstract</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>Notes</td>
<td>書評</td>
</tr>
<tr>
<td>Genre</td>
<td>Journal Article</td>
</tr>
</tbody>
</table>
日本中世史の研究
（原稿発行）

日本中世史の研究は、中世の日本社会の変化を詳細に考察したものである。著者は、中世期の政治、経済、文化を広く取り上げ、その発展の経路を明らかにしている。特に、幕府政治の発展、武士階級の形成、社会の変化などを詳しく説明している。

中世期の日本の社会構造は、紛争を生み出し、紛争を解決するために社会秩序の必要性が高まっていた。その中で、幕府政治は社会の安定を図るための重要な形態として発達した。著者は、この幕府政治の歴史を追究し、その発展の背景を考察している。

また、中世期の社会では、武士階級が形成されていった。著者は、この武士階級の形成の背景を追究し、その影響を詳しく説明している。

日本中世史の研究は、中世期の社会変化を理解するための重要な資料である。
日本史の研究第二輯
（岩波書店発行）